

こすど地区公民館報

発行 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
編集 公民館報編集委員会

手づくり感と力作揃いの 第43回 市民展

白熱の対局! 第12回小須戸地区 囲碁・将棋大会の結果

10月28日(土)に市民展の関連行事として、恒例の「囲碁・将棋大会」が小須戸まちづくりセンター2階の和室で開催されました。

当日は曇りで少し肌寒い一日でしたが、部屋の中では盤上の熱い戦いが繰り広げられました。

結果は次のとおりです。なお、囲碁の部は参加者が少なかったため交流対局となりました。

★将棋 一般の部

◎Aクラス

優勝 森田 耕司(小須戸)
準優勝 関根 倬夫(小須戸)

◎Bクラス

優勝 中山 利一(矢代田)
準優勝 木伏 道雄(矢代田)



「真剣勝負で集中! 集中!」



「力作をゆっくりと鑑賞」



「ハーブ茶で癒しと団らんのひと時」

10月28日(土)、29日(日)の2日間にわたって開催された第43回「市民展」は今年も多くの方が会場の小須戸まちづくりセンターに来場され、盛況のうちに無事終了となりました。

今年30の団体と6人の個人から出品された282作品が展示されました。展示内容は、絵画をはじめ書、俳句、川柳、陶芸、写真、切り絵、能面、バソコアート、フラワーアレンジメントなどで多岐にわたる力作が揃いました。

ご近所の方から近隣地域の方まで、来場者は日頃の芸術活動の成果をゆっくりと鑑賞するなど、秋のひと時を思い思いに楽しんでいました。

また、1階フリースペースの「ハーブ喫茶」ではハーブ茶を飲みながら、さらに2階和室のお茶席では抹茶をいただきながらの談笑など、それぞれ

地域の皆さまのふれあいの場となりました。

さらに、新企画の「懐かしい写真の部屋」には多くの人が訪れ、旧小須戸町時代の分館活動を写真とスライド上映で偲び大変好評でした。

この市民展は旧小須戸町時代から続く伝統があり、展示パネルの設置や作品の飾り付けなどの準備作業、さらには終了後の片付けも主催の文化協会の皆さんが中心となり、応援の方々を力合わせ、今年も手づくり感いっぱいの内容で関係者の皆様、大変お疲れ様でした。

来年の 年女年男を 大募集

公民館報1月15日号で年女年男を紹介します。
あなたの新年の抱負などをお寄せ下さい。

対象 戌(いぬ)年生まれの男女(顔写真つき
で簡単な質問に応じて頂ける方)自薦、
他薦を問いません。

申込み 11月30日(木)までに小須戸地区公民館へ



「笑いヨガ体験」

「高齢者生きがい講座」 笑いヨガ体験!

10月20日(金)老人福祉センターで「高齢者生きがい講座」を今年も開催しました。この講座は小須戸高齢者クラブ協議会と小須戸地区公民館が連携して毎年行っているものです。

今年、笑いヨガティーチャーの村山昭子さん(舟戸在住)が講師となって「笑いヨガ体験(笑う門には福来る)」を行いました。

「笑いヨガ」とはヨガの呼吸法を取り入れた健康体操です。研究が進み、免疫細胞を増やす働きがあることから、癌対策をはじめ色々な医療分野で「笑いヨガ」が使われているとのことでした。

「笑いヨガ」とはヨガの呼吸法を取り入れた健康体操です。研究が進み、免疫細胞を増やす働きがあることから、癌対策をはじめ色々な医療分野で「笑いヨガ」が使われているとのことでした。

「紅葉の街角で」
一年は、365日5時間48分46秒で、一月29日ある月の「閏年がきまる」と言う事を学校で学んだ事を覚えていた。

長い様に短さを感じる一年、春夏秋冬と四季の中で春は新緑、秋は紅葉と一番美しい月を迎える

に当たり、一言申し述べてみよう。
どこの家にも良く見られる木としては、ドウダンツツジ、山モミジ、イロハモミジ、オオモミジ、イチヨウなど紅葉が美しい。又、真赤に染まるオオサカヅキモミジが非常に美しい。

こんな中で、私達が

日常通っている道の横に金木犀と貝塚イブキが植えられているが「車の安全通行に支障をきたしているな」と思っていたら、ある日きれいに剪定され、見通しが良くなった。家主さんに感謝。みんな思っている事は同じ。
(矢代田T.T)

油が流れる伝兵衛沢の水路、古い油井戸跡、花の湯館(鉱泉、天然ガスの湧き出し)と、山の手地区の油田開発の歴史や地質学上貴重な場所をガイドさんと共に雨にも負けず、行程約8キロ、3時間かけて歩きました。

参加者からは「知らないことばかりの連続で楽しかった」「先人達の苦労が偲ばれる」など



安山岩の柱状節理(大沢公園)

知って感激、歩いて健康、 地元の知らないお宝探検!

10月22日(日)、台風が近づくと、山の手、小須戸両コミ協主催の「知学(地学)健康ウォーク」が行われました。21名の参加者が2班に分かれ、花の湯館を出発して天ヶ沢(オイルピット、採掘横穴)、松ヶ丘(地層)、大沢公園(安山岩の柱状節理、枕状溶岩、鎌倉(アスファルトタイト)の露出、石

どの声が聞かれ、次回への企画に期待が寄せられました。また、終了後、花の湯館でゆっくり温泉に浸かり疲れた身体を癒した参加者もいました。主管した小須戸地区スポーツ振興会では、今後も知学(地学)と健康をテーマに事業を企画する予定なので多くの皆様の参加をお待ちしています。



オイルピット(天ヶ沢)

ラジオ体操のお知らせ

寒い時期ラジオ体操で身体をほぐしませんか! どなたでも参加できます。

日時: 12月10日(日)から来年4月までの毎週日曜日
AM9時から1時間くらい

会場: 小須戸まちづくりセンター3階 会議室

参加費: 1回100円(当日徴収)
連絡先: ラジオ体操健和クラブ
代表 高山 38-4681

今年もやります!

小須戸地区公民館主催事業

こんなのが
できるよ→



門松づくり

作ってお持ち帰りできます♡

◆門松(かどまつ)は年神様を家に迎え入れるための依り代としてお飾りする日本の伝統文化です。新しい年に向け、祖父母または親子で作ってみませんか。

12月16日(土)

9:30~11:30

会場：小須戸まちづくりセンター

対象：小学生とその保護者
(祖父母と孫 または 親子)

定員：先着 15組

参加費：500円(当日持参してください)

持ち物：花ばさみ

申込み期間：11月16日(木)~12月8日(金)

お申し込み先：小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715



9月22日の第1回「護摩堂山の史実と伝承」は講師の木村さんから護摩堂山の伝説、寺社関連地名、護摩堂城遺構と歴史資料に残る護摩堂山、護摩堂城主を推測するなどの項目について絵図や資料を使って説明がありました。



講座の様子



東龍寺(田上町)

このように、講座で学んだことや場所を当時を偲びながら訪れることは大変意義深いものでした。受講者からは「小須戸に縁があり、もっと知りたい」「素晴らしいことを知ることが嬉しかった」など参加して良かったの声が沢山ありました。これからも、地域の皆様の声を聴きながら、講座を企画してまいります。皆様の参加をお待ちしています。

受講者からの「焼き米伝説は本当か?」という質問に対して、「落城の時期がはっきりしないので伝説はわからないが戦はあった」とのこと、15世紀から16世紀この地において戦があったことは資料からもはっきりしていました。9月29日の第2回「山沿いの道 旧三国街道を偲ぶ」は講師の木村さんと青木さんが

語り継ぐ山須戸の文化

護摩堂山と山の手旧街道編 講座を終えて

3年目となる地域学講座も無事終了しました。今年のテーマは「山」。小須戸にも馴染み深い護摩堂山や旧三国街道を石造物や古文書、旅日記、絵図などをもとに辿りました。講師はいつもの元小須戸町史編纂委員の木村宗文さん(水田)と元小須戸町役場職員の高木達男さん(小須戸)にお話ししました。紙面で今年度3回の講座を振り返ってみたいと思います。

スライドを使って、地図や古絵図を見ながら山の手旧街道、三国街道を辿りました。また、街道にある石造物等の示すものから当時の金毘羅様参りの旅日記、明治天皇の北陸御巡幸などの解説があり矢代田から新津への古道を偲びました。10月6日の第3回「古を辿る山の手めぐり」はマイクロバスに乗り、前2回の講座で学習した護摩堂城主の菩提寺と言われる田上町の「東龍寺」と、金毘羅講や湯殿山講の文書があった鎌倉の「小柳家」を見学した後、金毘羅大権現の石造物や天ヶ沢の石油採掘跡地を巡ってきました。

小須戸地区図書室新刊案内

【一般書】

- ・生物の「安定」と「不安定」(浅島 誠)
- ・疲れをとりたきや腎臓をもみなさい(寺林陽介)
- ・カリカリベーコンはどうして美味しいにおいな? (ANDY BRUNNING)
- ・これだけ! 溶接 (野原英孝)
- ・おしゃれのちから (石田純子)
- ・服を捨てると幸せが見つかる (やまぐちせいこ)
- ・子どもに作ってあげたいもの (日本ヴォーグ社)

【児童書】

- ・オオカミから犬へ! (ハドソン・タルボット)
- ・まんげつよるまでまちなさい (マーガレット・ワイズ・ブラウン)
- ・もりのこびとたち(エルサ・ベスコフ)
- ・ゆうかんなアイリーン (ウィリアム・スタイグ)
- ・よあけ (ユリー・シュルヴィッツ)

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、11月24日(金)までに小須戸地区公民館へ。

俳句・川柳・短歌募集

短歌

天高しヘルメット被る幼のせ
ペタル踏む母足軽やかに
秋色の古道を偲び歩を運ぶ
釣舟草が日陰に咲きて
敬老日白く編まれし竹かごに
うす紅のばらほほ笑みゆるる
ごめんよとまだ花つけしズッキーニ
抜かねばならぬ秋野菜のため

こみけ
吉田まつえ
玲泉
高橋キヨ

川柳

余生なお趣味と健康みち連れに
ご長寿も福祉無しでは生き難い
薬飲み楽しみ探す長寿です
日々新たな心の花を咲かす喜寿
年をとる取っても取っても増える歳

保科志枝
能登としお
増井都留
会田修
風間源一郎

俳句

満月の窓辺に照らす遠き夢
秋澄むやはちすば通りの笛の音
宮様と語られるるか月天心
鈴虫のひときは高く鳴く夕べ
山裾の暮れゆく空や赤とんぼ
赤蜻蛉いごち良きか四つ目垣
留守中に冬瓜ごろり居座りて
ポケットの木の実は回る洗濯機
投げ出した足にしぶととき蚊の名残り
酸素引き歩くわが身の残暑かな
卒然と逝きし月日ぞ秋の風
秋彼岸妻亡き人と談笑す
木犀を好みし父母の忌を修す

本多サダ子
馬場綾子
間野えり
本多玲子
丸山紀子
渡辺信子
吉田松子
吉澤文子
風間幸子
上田スミイ
中野太浪
熊倉ひろむ
佐久間久子

文芸欄

「小須戸地区敬老会」と「ふれあい昼食会」 地域に寄り添う福祉の活動

9月30日(土)小須戸地区の75歳以上の高齢者を対象とした敬老会を開催しました。

145名の参加者の他、自治会長や民生委員などボランティアの協力があり、総勢179名による敬老会は、昭和25年の古い写真のスライドショーやみんなで歌を歌うなど終始なごやかで楽しい会になりました。

また、10月20日(金)には、一人暮らしの高齢者の「ふれあい昼食会」を開催。三流亭楽々さんの落語を楽しんだ後は、ピアノ演奏に合わせて歌を歌ったりピンゴゲームしたりと、歌あり笑いあいの楽しい1日となりました。

小須戸コミ協の活動は多岐にわたりますが、これからも地域と向き合い、地域に寄り添う活動を続けていきたいと考えています。



小須戸地区敬老会の様子

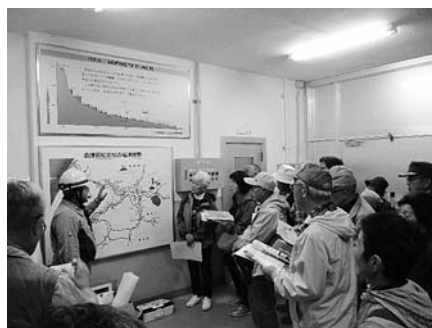


ふれあい昼食会の様子

小須戸コミュニティ協議会

水力発電について学んできました!

10月16日(月)、東北電力の協力により、福島県の奥会津にある水力発電所「上田発電所」「第2沼沢発電所」へ施設見学に行ってきました。阿賀野川沿いにはたくさんのダムを見ることができ、その姿は極々一部分で、地下数百メートルにある巨大な施設は圧巻! 日常入ることのできない特別な施設の中を見ることができ、貴重な体験をすることができました。参加者のみなさんと案内していただいた職員との意見交換も活発に交わされ、「あっという間の一日だった」「勉強になった」というご意見をたくさんいただきました。



山の手コミュニティ協議会